

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：主要農作物対策費

事業名 産地収益力向上生産支援対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 水田経営係 電話番号：058-272-1111(内4118)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 80,000 千円 (前年度予算額：80,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	80,000	0	0	0	0	0	80,000	0	0
要求額	80,000	30,000	0	0	0	0	50,000	0	0
決定額	80,000	30,000	0	0	0	0	50,000	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

海外市場や加工・業務用野菜等の新たな需要に対応するため、農業の国際競争力を強化することが喫緊の課題である。

このため、国際競争力の強化に向け、産地の収益力向上を図るために、水田・野菜・果樹・花き等の各産地の創意工夫により、地域の強みを活かした革新的な取組を促進する必要がある。

また、国際情勢により輸入に頼る麦大豆の国際価格が高騰する中、麦大豆の安定供給のために、国産化を推進する必要がある。

(2) 事業内容

収益力向上に計画的に取り組む産地に対し、生産性や品質の向上等の取組に必要な農業機械等の導入及びリース導入、生産資材の導入等に要する経費の一部を助成する。

<主な導入内容>

- ・土づくりやほ場準備関連機械、収穫用機械、GPS活用型農業機械 他

(3) 県負担・補助率の考え方

1/2以内 国補助金「産地生産基盤パワーアップ事業」を活用する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	80,000	・農業機械等の導入及びリース導入 ・生産資材の導入等
合計	80,000	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「ぎふ農業・農村基本計画」

7- (1) 米

消費者から支持される良食味米の生産を基軸に、所得確保に向けて省力・低コスト栽培技術の普及、多収性品種の導入を図る。

7- (2) 麦・大豆・加工業務用野菜

麦、大豆の収量及び品質の高位安定化、需要が見込める加工業務用野菜への作付転換などを進め、将来にわたり水田を維持する。

7- (3) トマト

競合産地の台頭や販売形態の多様化といった環境の変化に対応していくため、新たな栽培技術の導入や選果場の機能向上など、産地の構造改革を進める。

7- (8) 柿

更なる産地の発展を目指し、多様化する消費者嗜好に対応した新品種の導入や機関作業の労働補完体制の構築など、産地の構造改革を進める。

7- (11) 茶

栽培面積、生産量ともに減少傾向にある中で、地域で茶園を管理する新たな体制の整備や荒茶加工施設の再編や高齢化などを支援し、産地の活性化を図る。

7- (12) 花き

県オリジナル品種の育成や日持ち保証販売制度の導入、省エネ、低コスト栽培技術の開発・普及等により、県内花き生産者の経営安定を図る。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

国際競争力の強化に向け、産地の収益力向上を図るため、水田・野菜・果樹・花き等の各産地の創意工夫により、地域の強みを活かした革新的な取組を支援する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①農業機械等の整備（個所数）	0か所	0か所	1か所以上	1か所以上	1か所以上	0%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 農産物生産の高収益化に向けた産地の取組方向の明確化を図り、その方向性に即した地域の一体的な取組を実施した。</p> <p>指標① 目標：__1__ 実績：__0__ 達成率：__0__ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 農産物生産の高収益化に向けた産地の課題の明確化を図り、課題解決に向けた地域の一体的な取組を実施した。</p> <p>指標① 目標：__1__ 実績：__0__ 達成率：__0__ %</p>
令和 4 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 農産物生産の高収益化に向けた産地の課題の明確化を図り、課題解決に向けた地域の一体的な取組を実施した。</p> <p>指標① 目標：__1__ 実績：__0__ 達成率：__0__ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	産地が地域の強みを活かして収益力向上を図るためには、産地を担う意欲ある農業者等が行う高収益な作物・栽培体系への転換等の取組に対し支援が必要である。
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 1	生産コスト低減や品質の向上、高付加価値化等による産地の収益力向上に向けた取組を実施している。
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	関係機関が一体となり計画策定や技術指導や支援等を行うことで、目標に向けた取組を行っている。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 「ぎふ農業・農村基本計画」に基づいた強い農業づくりを進めるため、意欲ある農業者等が行う生産性や品質の向上をもたらす技術の導入等の取組を支援する。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 収益力のある産地づくりを進めるため、支援を継続する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	